

## 大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	原発は必要。ゼロはありえない。
2	パブコメ等、一旦集めた後は再度審議会で議論すべきと考える。聞き放しでいいはずはないと言えます。
3	私はDシナリオを選択します。安全対策が先送りになったまま、大飯原発を再稼働したことは大変残念に思っています。福島原発事故が起きた時の現場、政府、専門家の対応。全力を尽くしていただいたが止められず、今、もう一度あの事故が起きてても何人も止められないだろうと容易に想像がつかます。一度事故が起きれば国土の半分を失う。この経済的、人的損失はいったい幾らになるのでしょうか？ 今後は基幹電源を火力発電とし、省エネ、節電、クリーン発電事業の成長を促すような施策をお願いします。日本の火力発電は大変高効率だと聞きました。老朽化した火力発電を廃止して、高効率の火力発電所を作ってください。また、日本の企業が競って技術開発や再エネ発電事業への参入をするよう、地ならしをして下さい。企業は利益が見込めれば参入します。そうすれば雇用は確保され国内経済は活性化され、海外へのクリーン技術の輸出により二酸化炭素排出量の問題も解決できます。合わせて早期の発送電分離、送電網の高効率化をお願いします。私は次の世代や世界に誇れる日本であって欲しい。エネルギー政策転換は重大事と認識しています。是非、ご英断をお願いします。日本が真の先進国であって欲しい、と切に願います。
4	今年から新入社員として社会で働き、様々な方がいると実感している所存です。様々な方がいる中で企業が動いているのは何だかんだで企業の方針があるからだと思います。政府が先にパシッと1つ案を定めてみて、それから議論をしてみるという形の方が、より国民がやる気の出る指針を見いだせるのではないのでしょうか。
5	水力をあまり増設しない(8% 11%)理由を説明すべき。発言者 です。
6	現実的な視点が欠落した論点(ゼロ%シナリオ)は検討の余地はないと考える。
7	0シナリオを支持します。
8	ゼロシナリオに深く納得しました。電力不足(実際は不足しているか不明ですが)や電気代や経済成長も問題ですが、何より使用済み核燃料をどうするか、もんじゅ、六ヶ所村を廃止する方向でゼロにできるのか、より踏み込んだ話し合いをして欲しい。今現在、2基しか原発が稼働してなくても電力は足りているので、電気が足りないという議論はそのくらいにして欲しいです。核廃棄物の処理ができるのかどうか最大の議論であり、ゼロにしても費用がかかるのですから。一刻も早くゼロにして予算も他を削って投入して欲しい。リサイクルはやめて欲しい。今すぐゼロが望みです。それを前提にした話し合いもお願いしたいです。こういう話し合い以前に、しっかり政治家、専門家で話し合いがされてからだと思いたすので。途中、意味があるのか疑問に思いました。国民に負担を強いる前にそういったしっかりした仕事をして欲しいし、意味のない事で多くの時間とお金を使用しているようにも感じます。古川さん頑張ってください。
9	知識レベルに大きな差がある人間が議論しても咬み合わない。先週のNHKスペシャルのような形式の方がベターでは。何を選ぶのかハッキリ説明すべき。原発のリスクを選ぶのか？倒産失業が多い破綻国家を選ぶのか？その両方のリスクをほどほどに避けるのか？論点を絞って有識者に議論させるべき。そしてスピードもすごく重要。
10	意見聴取会は政府が聞く側なのが疑問、また国民の議論に責任転換するべきではない。意見者はそれぞれ主張はもっとも。エネルギー環境会議は何をしているか？ エネルギーと環境を一緒にしているのは？ エネルギー政策は固定するものではないし、資源、エネルギーミックスは国民レベルの議論とは？ 国として責任放棄ではないか。
11	どんなに不便になっても経済が止まっても、子どもの命を一番に考えるべき。まして自然エネルギーというものがある。自然エネルギーを本気で研究すればゼロは可能です。
12	資料の説明はまるで原発をなくすところなると脅しをかけているような説明だった。くさかべ氏は下手すぎる。みんなバカではない。マインドコントロールできるほどみんなバカではない。なぜ枝野大臣じゃなかったか残念。

## 大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
13	今日の選択肢「0%」について「即時ゼロ(再稼働は認めない)」と「30年までに徐々に減らしてゼロに持っていく」に分けるべき。考え方がぜんぜん違う。太陽光風力を再生可能エネルギーとして計上するのは止めるべき。地熱、潮力を開発すべき。最終処分場は大きな問題であるが、福島第一の跡地にするべきなのに、政府は「福島に最終処分場を作らない」事を法文化しようとしている。上記を法文化するなら前提として「どこに」「いつまでに」最終処分場を作るか明確にして欲しい。政府は原発を「危険なもの」として考えて欲しい。現在休止している原発も福一と同様の事態(全電源喪失)が起きれば事故になる可能性がある、という事を発信すべき。福一の事故は「人災」であったという基本に立って、ハードウェアだけでなく、ソフトウェア(大震災発生時、全電源喪失の時、誰の判断(責任)で被害を最小限にする為の方法を取るのか、廃炉にしていなくても続ける等)命令は誰が出すのか等を早々に決めて欲しい。原子力規制委員会には政治家が口をはさめないようにして欲しい。この聴取会に電力会社社員を排除したのは間違い。
14	15%シナリオを支持。グリーンシフトの具体像はあまりに極端な国民負担、経済負担を前提としたもので納得性に欠ける。このような提示に多くの国民は政策誘導を感じると思うので気をつけてもらいたい。
15	原子力自体よりも原子力行政や電力会社(既存)の仕事の仕組みややり方の方がより本質的な問題ではないか? また、日本は技術立国であるなら、再生エネルギーのコストを原発並みにすることになぜできないのか? 同じ観点から、技術を持って「核の無害化」はできないのか? これができれば今の国家戦略として意味は非常に大きいと思う。国家観と原子力の在り方の議論が不足。
16	拙速に8月に決めることはない。政権が変わってから議論を尽くすべき。来場者がどのシナリオを選択するかは問わないのか。もっと若い世代から意見を聞く仕組みを。密室少数でジジババの参加では意味なし。
17	中途半端で、まず3選択の意味不明。論の進め方、原発、ありかなしか、ありならどうか、なしならどうか、順序立ててきちんと考えて欲しい。もう1年半もたつてこの有様、近隣諸国への迷惑も考えて欲しい。SPがたくさんいたようですが、国民の意見を聞く会のこの現実。国民を信じない政府を国民に信じよというのか。
18	事前PRが不十分なので周知方法を検討されたい。関係者席が2列を占めているが、本来なら参加者を前詰めすべきである。発表者の発表骨子は事前に配布すると理解しやすい。意見交換があったのは前進だと思う。会場からも意見が言いたかった。
19	「無理」というのは簡単だと思います。しかし、それでは何も始まりません。何かが使えなくなる時、人はそれに変わるものを見つけ発展させていく能力があります。そうやって人類は成長してきました。原発を「ゼロ」にする、できるはずですが、その為には、政府がハッキリと方向を決めて国民を引っ張って行って欲しいと思います。みんなが同じ方向を向けば、戦後の何も無い所から先進国の一員にまで成り上がった時の日本のように、新たな発展を遂げられると思います。世界的には今回の日本の原発事故を受けて、脱原発・クリーンエネルギーへの移行が進んでいるというのが私の印象です。それなのに、なぜ当事者の日本が足踏みしているのかが分かりません。日本が先導してクリーンエネルギー産業を発展させるべきです。原発ゼロなんて経済に支障があるという意見がありますが、この新たな分野で発展できる可能性があります。次は原子力ではなく、クリーンエネルギー産業で世界一の技術と言われる日本をみんなで創って行きましょう。聴取会を今やっていることからわかるように、まだ日本の方向性が決まっています。その段階での原発再稼働は納得できるものではありません。もちろん生命に関わるような重大な影響がある方もおられるとは思いますが、私個人としては計画停電も受け入れる覚悟でした。
20	ゴマカサナイデ。

## 大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
21	意見の中にあつたように、この夏の電力不足のために再稼働したのだから、どのくらいの電気の使用量が あり不足して、原発が必要だったかどうか、正しい情報を開示して欲しいと思います。特に関西以外は原 発なしで夏を過ごしているのなら、来年までにいけるよう工夫しましょう。まずゼロにして、その上でエコな 再生エネルギーを考えましょう。日本は様々な技術があり、また研究、工夫が得意だと思います。国がそ の部分に力を入れようと思えばできるはずで。やろうとしていないだけだと思います。2030年ま で・・・とありますが、言い換えれば2030年まではやっても良いということですよ。2030年ま でに何も起こらないという保証はありません。即、やめるべきです。原発のゴミは埋めることが解決では ないのです。方法がわからないから埋める、再生するという単純な方法に行っているだけです。けれど も、どちらも難しく、決して簡単ではありません。ゴミ処理できないものを使い続けてはいけません。人 は進み続けてしまい、エネルギーを使い続けることを「よし」としてきたことと、「自身」も含めて反省 すべきです。身の丈にあつた成長をする事。できないものはやらないこと。留まる勇氣。やめる勇氣を持 つことが大切です。まず、福島に全力を注ぐこと。置き去りにされています。人々の声を聞いています か？ 30年以上、40年以上の稼働はありえません。その延長の議論そのものがありえないことです。 生活のために原発を容認している立地県に対して、その場で新しいエネルギー開発、廃炉のための技術開 発をし、支えていく必要があると思います。国に対しての信頼が崩れているという現実を良く理解し、本 当に必要な原発なのかを考え、「真実」を伝えて欲しいと思います。地域に暮らしている人と、政治に携 わっている人も同じ生命。人だけでなく地球に生きるもの全て、同じ生命ですよ。忘れていませんか？ 目の前の利益と地位のために。
22	開会前に「誰でもいつでも見られるように」インターネットで公開をしているというアナウンスは誤り。 インターネットが制限されたメディアであることを無視していると思う。国民的議論にするためには、 もっと媒体選択を含めて広く知らしめる広報が必要であると思う。
23	原発事故の原因が津波なのか、地震なのか分かっていないのに稼働させてはいけない。
24	日本のように資源の少ない国においては原発が絶対必要。経済面、環境面からも原子力に優るものはな い。また電力関係者を排除するのはおかしいと思う。国民に変わりはない。
25	20～25シナリオを支持します。経済への影響については、ひとりひとりの生活にどのような影響を及 ぼすのか、具体的に示す必要があると思います。ゼロシナリオを推す方は、それが理解できていないよう に思います。よろしくをお願いします。
26	討論形式でのやり方が良い。
27	有事の際の対応、核のゴミの最終処分法等現在の技術で対応できない原発をそのまま継続する事は問題が あることは周知のこと。そうした点からも自然エネルギー、新エネルギーの開発に注力していくべき。ま た、早々の対応としては夏場のピーク時の電力量が注目点であることから、2基以外のほとんどの原発が 止まっている今年の需要状況をモニターし、本当に原発が必要か検証するべきでは？
28	そもそも原発の核燃料リサイクルについて、政府の意見が見えない。また、2030年後の電力需要につ いても、妥当かどうか不明であると思いました。
29	本日の会場の雰囲気、今の国民の思いを良く反映していると思いました。15%シナリオで決着し、原 発ももんじゅも存続させるという出来レースは絶対に許しません。国民の良識を信じて欲しいと思いま す。特に1番の意見表明者の意見に強く賛同します。「原発からグリーンへ」と耳障りの良い言葉です が・・・大飯再稼働する前に、野田総理から聞きたかった言葉です。このことを日本の進むべき道の大 前提であるという認識を国民がしっかり持てるよう、総理に発言願いたい。この意見聴取会は大成功だと思 います。真剣に向きあって下さい。焦らずじっくりと国民の意見をまとめあげてください。政府は原発 を政争の道具にするべきではない。
30	ゼロシナリオに賛成ですが・・・。原発立地県の住民の人(貧しい自治体)がどうやっていくか、どう生 きてゆくか戦略的に取り組み、順次減少、ゼロにしてゆくべきだと考えています。
31	このような雰囲気に惑わされて脱原発へ舵を切れば、日本にとって不幸な未来となる。

## 大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
32	最初の説明でグリーンシフトの具体例が示されたのが、太陽光、風力だけなのは違和感がある。脅しっぽい感じがする。大きなものでは小水力や揚水発電など水力発電が抜けている。その他の様々な再生可能エネルギーも研究されている。そういうものに補助等を付ける等、国がもっと力を入れるべきである。ポーズだけで意見聴取をするのではなく、本当に国民の声を受け止めて頂きたい。原発ゼロシナリオ以外を進めるのなら、まず、福島原発事故の検証をきっちりとすべきである。地震活動期の日本で本当に原発の安全性を保つことが可能なのか、原発を稼働させずに十分な検証を行うべきである。10ページの原発依存度低減と対になるグリーンシフトの具体像は、ゼロシナリオにできないような方向に導く乱暴な書き方だと思う。一定の期間がすぎれば稼働できなくなることが確実な原発を推進してきた政府、電力会社に元々大きな責任がある。脅しばかりをかけて国民を誘導するのはやめて欲しい。核のゴミについての質疑を出席者にふるのはいかがなものか。国が後始末を考えずにしたことなのか。
33	電気と健康と、どっちが大事ですか？ もちろん健康ですね。一刻も早く原発を止めて下さい。また、使用済み核燃料の行き場が決まっていないのにどうするのですか？
34	シナリオに無理があり、実現の可能性が低い。最終的に政府が決めるために意見に耳を傾けるつもりでやっているのであれば期待できる。最後は政府が将来に責任をもって決定すべきである。そのくらいは教育に力を入れる必要がある。
35	事故から1年以上経って、原因対策や復興対策が進んでいない状況でのシナリオ選択ではなく、もっと「この国のかたち」こそ国民的議論、熟議がまず必要。
36	原発は安全の確認が絶対の条件だが、大飯原発のように、安全をごまかして再稼働しようとするのは明らか。事故が発生した時も住民を守ろうとしないことも福島で明らかになった。原発を動かせば処理できない使用済み核燃料が発生する。以上の理由で原発稼働は一切認められない。想定されているシナリオでは、原発を止めることで経済への負担があることを強調しているが、これは現在の経済システムを前提としているが、特にゼロシステムでは発送電分離、統括原価方式の見直し等、ダイナミックな構造改革を行えば事情は全然変わるものだと考える。
37	世論の多くが脱原発を指向している事実を受け止め、今回のようなセレモニー的意見聴取会などでなく、きちんとした形で民意を問うべき。政党の考えではなく、全候補者個人の賛否を明確にすれば、より正確に民意を反映できるだろう。
38	聴取会の持ち方・・・都度見直すところがあるが、0%シナリオの人が増えた理由を明確に。意見交換については、発表者の能力、表現差もあり、あまり良くないと思います。大臣への質問は良いことですが、日本の成長戦略、人口減少の中で日本経済をどう発展させていくのか、そのベースとしてエネルギー電力は必要不可欠なものである。現状の状況では、2030年では原発20~25%を行うべきである。
39	脱原発をすすめる、が「どの程度、どれくらいのスピードで減らすか」を選択する局面なのに、なぜ20~25%が選択肢になるのか？ 15%を選ばせるための見せ方にすぎないのでは。ゼロシナリオを選択して下さい。古川大臣頑張ってください。
40	選択肢は最初から3つに限定されており、できるだけすみやかにゼロ、の選択肢が必要。すでにこの5月~6月にゼロは実現している。意見表明者だけに意見交換を限定するのではなく(深まらない)、会場からの意見を求めるべき。
41	2030年に0%ではなく、すぐに0%にすることを指示します。現在、日本で動いているのは大飯原発2基のみですが、この2基を動かし、それ以上の電力を産み出していた火力を止めています。原発0%は今すぐにでも可能です。原発を動かせばそれだけで被爆者(作業員や周辺住民)を増やしています。また、核廃棄物は増え続け、その処理には膨大なエネルギー、資金、時間が必要ですが、その方法もわかっていません。事故が起これば、安全面、経済面から見ても原発を動かすことはリスクだらけだと思います。これまで原発を推進する政策のため原発に多くの税金が使われてきましたが、これからは直ちに原発を止める政策を発表し、核廃棄物の直接処分、再生可能エネルギーや省エネ技術の開発に力を入れて行ってください。
42	テロに襲われても大丈夫か？ レッカウラン弾などのミサイル攻撃があっても大丈夫か？ リスクは自然災害だけではないので、上記のようなことはちゃんと想定しているのか？

## 大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
43	福井県小浜市から参加させて頂きました。小浜市には原発は立地していませんが、地元経済活動の大きな部分であることは確かです。エネルギーの未来を考えると、0%、25%など感情的、経済的なことなど総合して、歴史から見て福井県嶺南地方を第二の名張市にしてほしくない。石炭から石油への変化、名張市はなくなりませんでした。脱原発により、福井県嶺南地方は無くなると思います。エネルギーの転換は地域の未来もなくすることになります。消費地の人間の数の方が多いに決まっているので声は大きくなると思います。大阪万博に電気を送電してから約50年、私にとっては大阪や京都の発展は（原発立地）地元の誇りでした。自分達の町が大都市を動かしている。必要ではなくなったからとか、恐ろしいと分ったからもういいです、私達にとっては勝手な話だと思うばかりです。古川大臣、別紙に以前テレビのミヤネヤに送った文章を添付します。見て頂ければと思います。30年、50年後に福井県嶺南地方を夕張市にしないでいただきたい。地元の人々の生活を守って下さい。本日の会の感想。反、脱原発の人たちのガス抜き発表会であったように思います。0シナリオの人の発表の多さ、会場の問題。なぜ、福井県立地市町の人間の話の聞かないのか。立地地域の生活を知っているのか。会場からの声やヤジは脱原発の人だけだった。人の話を聞くことの出来ない人のパーセントだったのでは？
44	直ちに原発は0にすべきと思った。特に省エネや再エネを進めるべき。
45	電力のバランスは原発なしでも十分とれている。にもかかわらず、原発を必要不可欠とする政府の方針はますます国民の不信をかっている。
46	参加者を決めるのに、なぜ事前に「何%支持」のアンケートを書かせるのか。これではまるで思想調査して参加者を決める類ではないか。自然エネへの転換は「やれる」か「やれない」かではなく、「やる」という判断の問題だ。
47	再稼働をやめ、大飯もやめて、ただちに脱原発に入るべき。TVで今、西日本全体では相当電気が余っていると報じている。システムの問題。地域独占を止めるべし。
48	原発はいらない。他の再生可能エネルギーをもっと開発すべきです。日本には黒潮があります。海洋エネルギーにもっと目を向けて下さい。古川大臣、早くやりましょう。潮岬沖でできます。
49	まず大前提として選択するについては、感情論ではなく理論的に進めて行かなければならない。最初に3つのシナリオが提示されたが、ゼロシナリオ以外の選択肢が提示された意味、経緯が分からない。なぜ5%、10%ではないのか？ もしくは35%、45%がないのか？ 3つの選択肢を示すのは真ん中のシナリオに誘導しようとしているように邪推してしまう。話を戻して、3つのシナリオを比べてみると、国民の支持は圧倒的にゼロシナリオになると思う。政治家の好きな多数決、過半数で考えると、他の選択肢は無いのではないか。それならば、なぜ原発を無くす決定ができないのか？ 出来ない理由を1つずつ潰していけばいい。立地自治体の問題—経済的に原発に依存してきたので、それに代わる何らかの対策が必要。補助金などに頼らない地場産業、新エネルギー産業等の現象。電力会社の経営の問題—経営努力をしない、甘ったれた企業の体質が問題なので、考慮する必要なし。最悪、倒産してもいいと思う。門戸を開けばもっと経営努力する素晴らしい企業が出てくるのではないか。抵抗勢力の問題—原子力ムラを始めとする抵抗勢力への対応は、政府、内閣の覚悟だけ。野田総理には政治生命をかけて望んでほしい。代替エネルギーの問題—太陽光、風力は取り上げられていたが、最も実効性がありそうな地熱発電はどうなっているのか？ 可能性は全て示して総合的に判断すべき。いずれにしても国はいい加減、国民に対してもっと真剣になるべきだと思う。選挙の時だけ甘い言葉を出して、終わってみればごまかしてばかり。いくらおとなしい国民でもそろそろ堪忍袋の緒が切れるのではないか。最終的にどういう結論になったとしても、なぜそうなったのか包み隠さず自信を持って発表してもらいたい。
50	再エネについての経済効果が全くシナリオに入っていない。0%シナリオは即0%とも考えられる。そのシナリオがない。政府の交付金を原発から再エネに変えることはシナリオに入っているのか？ 今回は「エネルギー環境」ですが、「エネルギー・事故」とかやってほしい。「エネルギー、保健・生命」とか。なぜ関係者が前に座っているのですか？ 論者が見えない。関係者は政府関係者ですか。後ろに座るべき。この「エネルギー環境の選択」だけで原発の稼働を決めるのはおかしい。一番大切な「生命・保健」の問題が全く議論されていないのが一番問題。本来、国民が「原発いらん！」という意見が大多数を占めれば、その通りに政府が努力して政策を作っていくものです。基本は日本国憲法にある「主権は国民」。このシナリオは本当に努力したものであるとは考えられない。原発は危険なので即止めて欲しいです。いやするべきです。再エネの技術の戦略とその経済発展を国の補助金、交付金をもっとあてがって国家戦略として進めていくべきです。「環境」もC02だけのことでなく、自然環境のことも考えて欲しい。また、輸出のことが出てきていないが、輸出もしないでほしい。この会合はとも国民的議論ではない。パブコメも知らない人ばかり。国民的議論ではない。国民投票しか無いと思う。平等な国民投票をして欲しい。その時は「即時撤廃」も入れるべき。
51	原発はいりません。
52	会場が狭すぎる。募集期間が短すぎる。2030年を前提にすべきではない。地震の大動乱期に入っているのにのんびりしすぎ。福島4号機の核燃料をすぐに移動すべきです。

## 大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
53	どんな立場の方でも、皆さん真剣にエネルギーの問題を考えられていることが実感できた。意見を交換し合う中で自分の意識がより高まっていくことが分った。それが広く国民の意識になっていくよう、これからもこういった場が無数に必要だと思います。今日は参加させていただきましてありがとうございます。
54	審議官の説明は片手落ち。15%シナリオへの誘導的説明であった。ドイツは「倫理」の問題として脱原発を、スイスは「コスト」で脱原発を選択した。イタリアは国民投票で脱原発を選択した。広島、長崎、フクシマの当事国が今回のような1ヶ月～2ヶ月の駆け足で「ガス抜き」としか思えない「意見聴取会」をへて、原発依存国として原発利益共同体に媚びへつらう政策を取らないでください。「人の道」に反しない政策を。命より大切な物はないです。
55	アトランダムに選ばれたから致し方ないが、大阪、奈良の人が一人もいなかったことはやや不満。
56	福島の原因究明。対策が取られていない段階での原発再稼働反対。そのような方向の延長線上の原発は0にすべき。
57	自然エネルギーにもっと予算をつぎ込んでほしい。原発には最低の予算でいいのでは。
58	私自身、エネルギーについて勉強できていなかったのが意見表明しないで参加させていただいたのですが、ゼロ選択です。命はお金では取り返しのつかないものであること解決できないことを、安易に責任取ると表明されました野田さん、どのように責任を取るのか理解不能です。小沢さん離れました。鳩山さんも反対しています。何にこだわって原発再稼働したのですか。日本の国を良くしてくれるのであれば、何党でもいいのです。理解を示して下さい。原発反対ですが、日本人、日本の国民として一丸となりましょう。総理として国家の最高権力をあなたは今持っています。原発、オスプレイ、予算、一体あなたは何を政治信念とされているのでしょうか。政権交代したのに完全に崩壊させてしまうのもあなたですか？私は民主党に期待しましたが、何も変わらなかった。しかしまだ政権与党です。まだ変えられます。地震大国に原発はいらない。発電送電の分離を早くして下さい。が原発を廃炉にすると徹底してしまうのは今までの経営努力が足りなかったからです。資本主義である以上、従業員の雇用も守らなければなりません。も方法考えての再原発ありきの発想でしたのでしょうか。核で人類が減ってしまったら、電気を供給しても意味が無いですよ。
59	現状に対する認識、価格感がそれぞれ異なっている。それを土台にしている意見の表明なので、自分と異なる意見を認めることにはならない。どうやって原発を減らしていくかの議論にはなかなかならないだろう。原発への依存度は「0」に、なるべく早く「0」になっても、その後の処理等、安心できる状況にはならないので、稼働するものだけでも早く「0」に。
60	3つの選択肢しかなく、しかもその2つが原発維持であることは理解し兼ねます。また、公募期間が短く、とても周知できたとは思えません。もっと周到に国民の皆さんの間に問いかけていただきたいと思えます。
61	ゼロシナリオで進められることを希望します。節電や省エネの提案を私達に提供して欲しいと思います。使える車や電化製品を取り替えなくては・・・というのはちょっと違うのでは、と思いました。
62	選択肢の設定の仕方が恣意的に思える。原発を続けていくとしか思えない。技術は完璧ではないを前提に、事故が起こった場合、そこに住めなくなることを覚悟しなければならない。それはできない。だからすぐ原発は廃止すべきだ。クサカベ氏？(審議官)の説明は、ゼロシナリオの場合はグリーンシフトの場合、太陽光と風力にしばり、脅しとも思える言い方で、原発が必要だと思える説明であった。「脅し」はいけない。日本中の人々が、一人ひとりが日本に住めなくなる覚悟ができるか、あなたはその覚悟がありますか？経済論、技術論の問題ではない。生き方の問題だ。
63	エネルギー戦略として、原子力を減らすことは明示されているので、道すじについて議論して頂きたいと思った。エネルギーを含めて"日本"の戦略を考えていきたい。FTAや安全保障を考慮すると、省エネ技術で世界のトップランナーになるべく、"ゼロ"シナリオを決意して取り組むことが有益だと考える。省エネ技術導入を法律で縛ってしまえば(マスク法など)、実質的なかつ他国から文句を言われない参入障壁になりうると考えます。参加者は程度の差こそあれ、脱原発を望んでいるように思えます。
64	国民的議論を尽くすにはあまりにも短い時間である。国民投票を実施するくらいの覚悟が政府に求められていると思う。
65	ゼロシナリオにしたいです。日常生活でどれくらいの節電努力をしているのか、具体的に示して欲しいです。それでない想像だけでこれからの選択はできません。これは政府の仕事です。もっと数値などデータの開示を。後、ゼロシナリオでない場合、事故があった際のシミュレーションをそれぞれの原発で出して欲しいです。今、南海地震が懸念されていますので、これが起こった場合も同様です。

## 大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
66	もう少し広い会場に出来ないものか？ また、国民に広くパブリックコメントを求めると言うが、知らない人が多い気がする。もっとメディアを使用し広めるべき。
67	0シナリオを希望。核燃料リサイクルについては再考して欲しい。
68	できるだけ早く原発をやめて欲しい。再エネの技術は発展すると思う。省エネは私達国民でやります、やりきれぬ。福島の原因が本当に分かっていない原発は、本当に安全ではないと言い切れる。シナリオの中で再エネについての説明をわかりやすくして欲しい。サイトを見ますが、大臣の最後の挨拶の内容を盛り込んでほしい。
69	ゼロシナリオを支持します。ゼロシナリオについては、困難な点が指摘されているが、意見表明者からも発言があったが、3つの選択肢の示し方にも問題がある。
70	国民に正しい情報を知らせ、エネルギーにもっと興味を持ってもらうようにして欲しい。
71	原発は再稼働しても良いですが、暫定対策（1.堤防を長くする。2.扉の鉄板を厚くする。3.非常電源を用意する）ではダメで、恒久対策（基礎工事からやり直し強固な設備にする）が出来てから原発による発電して下さい。
72	意見聴取会のPRが少なすぎる。国民の意見なので、もっと国民にPRして各都道府県レベルでの開催をするべきと思う。期間にしても短すぎる。この期間だけで日本の未来を決定して良いのか？ 会場内にSP？ 公安委員会？ 大臣がいるにしても居すぎ。嘘の情報を平気でメディアに流すのはやめましょう。
73	まず、こういったEnergy・環境の選択肢の3つのシナリオ設定と、そのシナリオ設定の前提となる問題提起がおかしいです。3つという設定は、真ん中に誘導したいという意図が見えてしまいます。なぜ、15シナリオでも2基新規建設しないと出来ないのに、40年廃炉で適用できるシナリオなのか疑問です。そして一番国民が知りたいのは、正しい知識と情報です。今の電力状況、現存の発電所の供給力の正しい情報開示なしに、電力不安をあおってシナリオ誘導や選択をするべきではないと考えます。又、各シナリオで考慮されている視点が、「温暖化対策」、「エネルギー安全保障」、「経済」という、いわば偏りのある視点だと思えます。原子力を動かした場合のリスク、安全対策のコスト、総括原価方式の問題、電力業界の独占状態による弊害、第一次産業への影響、事故対策、被害保障等々、様々な材料が必要です。国民が当事者として政策に関与できるよう、OPENで公平な参画方式をこれから積極的に提示して下さい。原子力は人間がコントロール出来ない技術だということが、今回の事故で明らかになりました。未だ廃棄物の問題（処理の確立もされていない）中、これ以上原子力に頼らない新たな舵取りが必要です。抜本的な改革を切に願います。この度は貴重な機会を頂きありがとうございます。
74	エネルギー環境の選択を見直しながら今後も続けてほしい。
75	核のゴミは危険なので、もう増やしてはいけぬ。難しいけれどゼロにするために自然エネルギーを確立していった、日本の大きな技術を育てていく予算をつける、輸出産業に育てていける。地熱発電の技術ですら、海外で日本のものが動いている。増える核のゴミのためにお金を使わず、次の世代が喜ぶエネルギー技術にお金を使うべき。日本の急流を生かした省水力発電を小川に作れるように法改正を！地域で発電できるのが理想的。今ある核のゴミだけでも安全に管理、保管するのもお金がかかる。廃炉にも費用がかかる。これだけ国際を発行して、借金の世界一の国という認識があるのなら、ぜひゼロにして下さい。少子化で税金が少なくなるはずなので、ますます厳しい財政状況になるでしょう。小さいことなら、省エネに関するアイデアをどんどん出してもらって（例えば環境省や新聞社など）、壁新聞コンクールやリサイクルしたもの（エコバック、リフォームした服、雑貨など）、様々な楽しい賞をつけての発表大会のTV番組やラジオ番組に補助金があってもいいと思います。今は高齢者の人ばかりに選挙対策としてお金を使っています。未来につながるお金の使い方をしたい。問題先送り、後回しはいい加減にして欲しい 総括原価方式問題。今の電力会社のシステムは、コストをかけると電気料金があげられるので、競争相手がいないことが問題です。競争できるように法改正を。電力会社からのお金の流れ、利権を感じています。出来ない理由ばかり並べている資料。まあ、ゼロは無理だろうと「15シナリオ」を選ばせようとしている。誘導しているのを感じます。この問題はとても大切なことなので、もっと時間をかけて下さい。急ぎすぎです。まだ、このことを知らない人もたくさんいます。ただ意見を聞いたからもういいだろうという会にならないようにと強く望みます。原発関係の人への再就職は、再生エネルギー会社で保障すると約束してあげて下さい。仕事が無い不安からしかたなく原発賛成としている人が多いはず
76	意見表明の人数配分は均等に、多様な意見を汲み取る方がよい。ヤジは禁物。真摯な気持ちで個人個人の意見を静かに聞く必要がある。私の隣の隣は「アホ」とか言っており、こういう方の子供がかわいそう。個人の意志なので集団化するのはどうかと思う。特に反対派は行動の仕方を牽制するべき。
77	選択肢のパターンが少ないので、バリエーションの幅を残すべきと考えます。

## 大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
78	そもそも、この意見聴取会、そしてパブリックコメント等のやり方が広告不足で、こっそりやっている感じで、本当に国民の意見を聞く気があるのか疑問。なぜ、1ヶ所だけなのか。関東圏は1ヶ所だけなのか。ガレキ拡散の広告にあれだけエネルギーを使って、この議論にはポーズのようなことをするのか。なぜ、このような狭い所で行うのか。グリーンシフトの具体像のイメージは、かなりまやかしが入っていると感じる。なぜ、地熱発電にもっと力を入れないのか。現実には北欧の国では日本製の発電装置が使われている。もっと小規模の水力発電もある。電力ピーク時だけのブラックアウトを避ける工夫をもっと出来るのではないかと。まず、発送電分離を必ず行なって欲しい。どなたかが言われていたように、数字に縛られず(いつまでに%を目指すetc)、ビジョンを示していくべきだ。3つのシナリオのどれにも欠けている点は、日本が世界に比類なき地震国で、しかも経済大国で、インフラの高度化されたフラジャイルな大都市を有するところだ。又、巨大地震が起こったら、2030年までにゼロシナリオでも危ない。起こる確率が非常に高いということを考えておかねばならない。原発は可能な限り早くやめなければならない。
79	「国民的議論」の進め方について。パブコメ締切が延長されたことは良いことですが、それでも8/12まででは議論の時間が足りません。今のところ、やっと政府が意見を募集していることが一般に知られ始めた所と感じています。少なくとも8月末まで、可能なら9月末まで延ばしていただきたいと思います。シナリオについて。2030ゼロシナリオで、温暖化対策を更に強化することが必要です。省エネ強化、再エネ強化、石炭規制強化。温暖化問題のコストについて、各試算は「早く対策を進める方が安上がり」で「時間が経つほど被害が大きくなる」という事が言われています。先延ばしにすることは許されません。2020年時点の温室効果ガス排出削減目標が相当低く見積もられていることに強い不満があります。温暖化の問題には、より将来世代に被害が(負担が)課せられるという点を重く捉えていただきたいと思います。今からでも遅くないので、若い世代にも意見を聴くような機会を設けて頂きたいです。「国民的議論」のあり方には問題もありますが、少しずつ改善のご努力をされていることは大変良く分かります。短期間で大変なお仕事をされていることに心より敬意を表したいと思います。これからもよろしくお願い致します。
80	領土、国防、エネルギーの大切さ。電気エネルギーの構成を国民の感情論に問いかせが不可ではないか? "0シナリオ"が多数になるのは当然。感情的判断となれば当然と考える。「原発に依存しない」という耳障りの良い言葉で国民の判断を鈍らせているのではないかと。依存しないとは0%の事でしょう。
81	津波対策、耐震対策を行えば安全である。100年後、200年後の日本の将来には必ず必要である(何世紀先に渡って)。もし原発をなくすと、間違いなく失業者が増加し、日本経済はダメになる。また国防的にも必要がある(原子力産業を絶やすな)。反原発が国民の声ではない。一部ではあるが。資源のない日本では電力源としての原発は必要である。素人の意見(視聴率を意識した無責任な報道のマスコミ)を聞かず、専門家の意見を聞くべき。国民の意見を聞くという姿勢は一見民主的ではあるが、国民は素人である。また木を見て森を見ずが国民である。国民は立場的に森を見ることが出来ない。できるのは政府国会のみである。その上で責任をもって決定できる政府に我々はそれを委任するしか無い。日本国の100年後、200年後への将来を左右する政策決定において、選挙を意識してそれを行えば大きな過ちとなるでしょう。選挙で落ちても良いとの覚悟でお願いする。意見表明者の方の意見には科学的な根拠が薄い。電気Eの生産から消費までの意味が分かっていない。政府は電気Eの供給理論をPRすべき。
82	政府のシナリオが今後も経済が成長するという前提で作られていることが根本的に疑問。これからは人口も減っていくし、製造業の現場も減るから、GNPも減る代わり、必要なエネルギーも減ると考えるのが自然ではないでしょうか? 縮小をネガティブに捉えず、ポジティブに活かす視点がないとこれからの日本はもうやっていけないと思います。失った信頼を取り戻すためにやっているのに、更に不信を募らせるような聴取会のやり方、シナリオで無駄な税金を使うのはよして欲しい。1年以上時間があつたのに原発も立地地域の産業振興や補償問題、電力会社の総括原価方式の見直しが行われなかったことが疑問。
83	こういった場を持つと、反対する者が多数参加する通例であり、それをマスコミが過剰に報道することから「0」に近いことが国民の大勢の意見といったように伝わる。民主党政府は日本国を壊したいのであろうか。もっともっとしっかりとした議論と思考でエネルギーを考えて欲しい。エネルギーが乏しく、経済力のない日本を誰が相手にするだろうか。全世界の中で日本の位置づけを守るためには、経済力の維持が必要と考え、それが日本国民を守ることはないかと。大きな視点で日本を考えて頂きたい。エネルギーを政争の具にすると非国民はなはだしいと思いませんか?
84	0なら正、15 or 20~25は悪といった印象が否めない。20~25%の方が意見を発表している際、ヤジが飛んでいましたが、それを小さな意見と言って認めるのはどうなのか? おかしいと思う。あと、周辺の人にお聞きしたが、主婦クラブなどが参加を呼びかけていたとのこと。これは0%シナリオ側の部員では? これで公正な議論が出来ているとは思えない。



## 大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
85	原発が危険だということは日本中の共通認識になっていることを参加してハッキリ感じました。その上で再生可能エネルギーをどう増やしていくかが今後の課題です。政府はそのための最大限の支援をして下さい。その方法を示して下さい。国民は必ずそれに答えると思うし、企業も利益が見込めれば動くはずでず。もうそれは確実に始まっています。
86	古川大臣の言葉。一言一言に大臣のお人柄が出ていて納得できました。会場の中で15%誘導の声が出たのは さんの話し方、表情だと思います。それとこのような機会を設けていただいたことに感謝致します。色々思いもありますので。パブリックコメントに投稿させていただきます。国民の願いがしっかり審議されることを願っています。ありがとうございました。
87	各シナリオを決めるこの意見聴取会以前に、なぜ大飯原発を再稼働させているのか？ まず、「原発ありき」を前提とした既成事実を作っている政府の姿勢には信用出来ない。全原発容認のため「意見聴取会」がアリバイ作りだとしたら、今日の「聴取会」は無意味。 のゼロシナリオの人の意見が「民意」。
88	原発の安全が保証されない限り稼働しないで欲しい。福島の子被害の保障が進んでいない中で稼働することは被害者を無視していることです。そのことを解決した上で稼働することが必要です。
89	意見聴取会の申し込みの公報が消極的すぎる。参加申込みページが見つげにくい。審議官の解説が25%シナリオに誘導しようとしているように思えた。現状で日本政府及び原発を運営する組織に原発を「安全」に運用できるとは思えず。その観点から可能な限り早期の脱原発が望ましいと思う。意見聴取会の意見をどれだけ、どのように参考にするのかが不明。率で話をすると話しがややこしくなる。何基の原発を動かすか止めるか廃止するかで議論できないか。
90	現状を変える意志の選択は、大きな決意がいると思います。今の時代、エネルギーをそのまま享受することを良しとした先に、福島の事故があると思います。未来に恥ずかしい時代の記憶を残したくないし、世界の中で堂々としていられる国でありたいと思います。やはりゼロの選択をして世界をリードしていくべきです。
91	一人あたりの発言時間が長すぎるように感じました。話が上手な人もあれば、そうでない人もいらっしゃいます。長くなると論点もずれてきますので、もっと簡潔にまとめて、もっと多くの人に発言してもらった方がいいと思います。原発の開発、研究、設置、交付金、運転、燃料の運搬費、処理費、事故が起こった時の補償費など、原発には他のものに比べてケタ違いの費用がかかると思います。なのに原発の費用が安いという論調になっているのが不思議でなりません。それらの費用も全て明らかにした上で、かかる費用を算出して頂きたいです。政府がハッキリと原発に頼らず、クリーンエネルギーの開発に向かうという方向を示していけば、その技術が飛躍的に開発されていくと考えます。原発を動かせば動かしただけ核のゴミは増えていくのですから。限定的な稼働もあってはならないと思います。日本列島は活発な地震の発生期に入っていると考えられます。こんなに地震が多発する土地に原発があることが不安でなりません。今回の聴取会を「国民の意見を聞いたよ」というポーズで終わらせることなく、実際にゼロシナリオを希望する国民が多いという現実を考慮して判断を下していただきたいと思います。他のシナリオを選んだ人の中にもゼロシナリオを支持していると思われる人が多かったと思いますので。
92	シナリオ毎のコスト(例えば原発コストのウエイトバランス、系統対策コストの具体的内容等)の根拠(詳細)が実は開示されていないのに、全て開示されているかのように国民向けに広報されているように感じる。たましである。もっと科学的、合理的に議論して欲しい。そもそも、どのシナリオが選択されるにせよ、主として炭素コスト負担で電気代が1.5~2倍程度になることについて、本当に国民的コンセンサスがあるのか非常に疑問である。政府説明にあるように、政府が最初から求めるのではなく、広く国民に議論してもらうために複数シナリオを提示する、という趣旨に本当に直すためには、より幅広いシナリオを提示すべきではないか？ 今の3シナリオは、実のところ似たり寄ったりである。
93	誰もが個人的には原発があった方がいいとは思ってないとも思います。組織となり、利益追求のためとなると、原発は安全、必要なものになってしまう。次世代のために、子供たちのために、今、大人は経済性より次世代に負の遺産を残さないことを決断すべきです。国民の意見を聞くこのような会がポーズだけにしないようにして下さい。国民が一人ひとり考えるきっかけとなる、このような、今後の日本には必要だと思います。大臣の最後のあいさつは信頼性を持てるものであります。ぜひ、原発0は決断願いたい。
94	改めて拙速な議論には反対。各シナリオのメリット、デメリットをより分かりやすく示すべき。
95	今日の議論をどのように活かしていくのが政府の信頼につながっていると思います。素晴らしい日本を今後も守って行きたい。2030年には期限切れの原発を廃炉にしていくと何%残るのか？ 15%シナリオは新增設するが稼働率を上げるかは不明であると応えられたことに対して、「この議論は何のためか？」と思わざるをえない。大臣から、原発に依存しない国を目指すことには変わらないグリーンを成長させていく方針であると聞いて安心した。蓄電池の開発も進めて欲しい。

## 大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
96	<p>原発を手放せないのは、おそらく有事の際の核武装を早くできるようにだと思います。一応「平和利用」を名目にして原発を維持しておきたいのでしょうか。原発がゼロでも十分エネルギー不足に陥らず生活できるものと考えます。原発がないと電力が足りないと思わせるために、火力発電所を止めたりしているのではないかと。「オール電化」をどんどん進めたのも、原発をもっと動かしたいため。原発がなくなると「経済が・・・」とか「電気料金が・・・」など言う方もいますが、果たしてそれも本当なのか？ 又、「原発ゼロにすると、原子力技術が海外へ流れる」とか「日本の原発技術の向上が無くなる」という意見もありますが、原発を動かさなければ技術向上は無理なのか？ そもそも、海外を含めて、ドイツのように脱原発になればそれほど長い期間を経ないうちに原子力技術など必要なくなるのではないかと考えます。意見を述べてくれた方が「電力使用量が1%でも足らなくなってしまうのではないかと、とても不安」と言っていました。私もパソコンで90%を超えるちょっとドキッとしますが、おそらく、この使用量のパーセンテージもちょっとした脅し。嘘だと思います。かといって、夜なのに昼間みたいに明るい看板、何もかも電力を使う家庭のあり方など、私達も生活を見なおせば原発ゼロで十分豊かな生活ができると思っています。</p>
97	<p>政府も事業者である電力会社も情報隠しをしてしまった。地震に対する対策も全くできていない。信用を失った政府、電力会社に命を預けるつもりはありませんし、自分の子供にも他の子供達にも負の遺産を引き継がせる訳にはいかない。放射能廃棄物はすでにたくさんあるわけであるから、処理技術など今後の技術向上を目指して研究は続けて下さい。放ったらかすわけには行きません。今までの政策を許してきた我々にも問題があるとは思いますが、推進してきた経済団体（経団連）などの会社にも責任があると考えます。国民だけに負担をかけずに、この経営者たちにも責任（金で）を取ってもらいたい。今の時点で問題の多い軽水炉は全て廃炉にして下さい。福島県民の計り知れない負担を政府が理解しているとは本当に思えません。情報開示と原発0にするということの前提で制作を進めて欲しい。</p>
98	<p>原発の依存度と再生可能エネルギーの議論は別にしないと本当の思い、願いを聞き出せないのでは。また知識のない素人だけで議論しても意味が無い気がします。</p>
99	<p>現実問題を考えると15%シナリオになるのだらうと思う。私個人はゼロシナリオだが、理論的に意見を表明する自信がない。今回、意見表明の希望はしなかった。想像通り、ゼロシナリオの意見は感情論に向かいがちで説得力がなかった。私自身はゼロシナリオで、そうあるための努力はするが、ゼロシナリオを主張する人達の、いわゆる反対派と呼ばれる人たちと一緒にやっていけるのが不安に感じた。会場でも少し「ヤジ」が出たが、ゼロシナリオの人たちだらう。柔軟性に最も欠ける層（全員ではないが）を含んでいるのがゼロシナリオなのではないか。一方、現実面を見ているのが15%シナリオで、本日の意見表明でも、15% 0%を主張する方がほとんどで、制度設計の必要性、柔軟な対応を主張されていたのが印象的だった。再エネ、省エネ方法で世界、また日本の地域（ゆず原町、飯田市）で取り組まれている方法は多くあり、それらを研究するために国家公務員1種の方々は大学院等に行かれているのではないですか？ 税金を使って学んでこられたことを、政策形成時に私達に分かるように、目に見えるようにして下さい。昨年、私は英国大学院に私費留学しましたが、同時期に国から環境政策を学びに来ている方がいました。具体的な方法を知らないのではなく隠しているだけ、ですよね？ 何人かの方がおっしゃった政策形成の制度設計について、私は英国で学んできました。英国だけでなく、各国、地域で実践されている合意形成、政策形成の日本のスタートと感じます。これを踏まえて、本当に国民が必要とする政策をつくる仕組みを考えていって下さい。審議官の終盤の進行、ゼロシナリオだと技術も流出うんぬんの議論は、国の考えを明らかにしてから議論ではないでしょうか。本当にファシリテートしているのか疑問に感じました。本来なら第三者がファシリテートするのが基本ですよね？ 大臣がおっしゃる「原発、グリーン、ひとりひとりが電力の供給者、料金体系の選択に反対する人はいないでしょう」とも、これらを実現させる仕組みをぜひ作って下さい。また、本日のアンケートはすべて大臣が目を通すとおっしゃっていましたが、市民参画のはしごの確か3か4段目「意見を聞く」だけにならないよう、切に望みます。この回、パブコメがアリバイ作りになりませんように。</p>
100	<p>補欠でしたので、意見をお持ちしました。添付しますのでご覧下さい（添付資料にも名前を書いております）。古川大臣、ぜひ読んで下さいね。</p>

私は、福井県小浜市（原発準立地地域、半径 10 キロ範囲内）で動物病院を開院している獣医師です。

ミヤネヤの 送った 文書です

昨日、5月15日の放送分の中で、原発再稼働、夏の電力不足についての放送がありました。

その中で宮根さんが「もし、自分が立地地域やその周辺地域で旅館や飲食店等の仕事をしていたらちょっと困るわー」と発言されていました。

私たちはまさにその言葉通りの不安を感じています。現在の福井県嶺南地域（若狭地域）は原子力発電所の経済効果に多くを依存しています。

私は発電所内で作業員の方々やどの様な仕事に取り組んでいるかは知りませんが、その方々は当然のこと、発電所に直接係らない仕事をしている周辺の人間も経済的恩恵を受けていることは当然の事実です。

その生活形態を突然取り上げられるのはこの地域に住む人間にとって住むのを諦め違う地域での生活を求めるか、座して死を待つかの状態を選択しなければならないことであると思います。

私にも家族はいますし病院(仕事)もあります。簡単にはこの土地を離れるわけにはいきません。住宅ローンを抱えている人や、今後の生活設計をしていた人も多数います。

子ども手当もなくなり、消費税の増加、高齢化社会、現役世代には厳しい時代です。大阪をはじめとする大消費地には仕事もあれば選択の幅もあります。我慢すればいいと言えるのは明日の生活に（お金）に困らないと思っている人たちだけで、たちまち収入が断たれる人には大問題です。

私は必ずしも原発推進の立場ではありません、福島現状を見ると危険なものはないに越したことはありません。しかし40年間それとともに生活してきた地域にとっていきなりYESかNOの答えを出せと言われるのは大変難しく答えは導けないと思います。

私の住んでいる小浜市は原発は立地していません。しかし産まれてからずっと目に見えるところに原発はありました。立地自治体のような国からの恩恵にはさほどあずかっていないと聞きます、今回の再稼働問題でも市議会は賛成、反対で意見が紛糾しています。立地、準立地市町 福井県それぞれの立場、地域の将来、国民の声、世界中の目を一地域一町の判断に任せるのはおかしい問題であると思います。今の状態で大飯原発を再稼働しても何か事故があった場合はおおい町だけでなく周辺の小浜市をはじめ福井県全体が被害者ではなく加害者になってしまいます。（福島の場合とは異なると思います。）

また芸能人等の強力な反対運動をされている方々は、大多数を占める消費地の方々にも正義を訴え、生まれてからずっと国のエネルギー政策の犠牲（お金と引き換え）になってきた地方の田舎町の将来を考えてはいません。（同じ日本人であるはずなのに）マスコミを利用した芸能人の反対運動を見ていると地域に根差した生活をしている人間に対して、ただ一時の感情だけを煽り立てて騒いでいるようにしか思えませんし、将来に対する責任ある行動には見えません。

国は将来のエネルギー政策の方向やビジョンを全く語っていませんし、末端の国民の意見など聞く余裕さえなくしているように思います。  
今の政権にリーダーシップを求めても難しいのですが、人の話くらいは聞く余裕は持っていただきたい。

国のトップや各政党の長、橋下市長や嘉田知事、西川知事、経済界、反対派、推進派の方々がそれぞれに持論を展開するのではなく、消費地でもなく立地町でもない福井県小浜市でオープンな討論を行ってほしいと思います。

ミヤネ屋さんにはこれからもまだまだ地方問題（基地、原発、過疎高齢化問題）に力を入れて取材していただきたいと思います。

「もし、自分が立地地域やその周辺地域で旅館や飲食店等の仕事をしていたらちょっと困るわー」

発言は、震災以降一年数か月の間の数々の報道番組のなかで初めて聞いた私たちの本音だったと思います。

22  
2012年7月21日

内閣府「エネルギー・環境の選択肢に関する意見聴取会」

意見表明者の  
署名です。

<概要>

軽水炉を新設せず、既存の原子力発電所を適切に運用しつつも40年寿命・廃炉を適用すれば自ずと15シナリオとなる。これが、再生可能エネルギーの規模拡大を支持しながらも、エネルギー（電力）安定供給を図りつつ既存設備の人材育成を含む安全な保守・運用を行う現実的な選択肢と思われる。これに加え、2030年以降に向けても、現時点から継続的にエネルギーの資源・技術の開発を、より安全性を向上した原子力を含めて進めていき、2030年時点でスムーズにそれ以降の期間に結び付けていくべきである。

<意見>

1. 【原子力の視点から】従来型の原子力発電所（軽水炉、大型炉）の新規建設は非常に難しいだろう。これはフクシマ事故以前から見られていた傾向であり、フクシマ事故以降はさらに強まっている。
2. 【原子力の視点から】既存の原子力発電所を40年寿命で廃炉にする方針とすることは、人材と設備が存在するうちに対処することの必要性から、妥当と考える。
3. 【エネルギーの視点から】再生可能エネルギーが、設備容量ではなく実際の供給能力において2010年実績の10%（水力が8%）から30%（絶対値の増加分は太陽光+風力が主体）に増やしようと考えるのは無理があるだろう。
4. 【エネルギーの視点から】現行の15シナリオにおいては、原子力の依存度低下分を再生可能エネルギーに信頼を置き補足しているが、二酸化炭素排出量の増加分を受け入れ、化石燃料（石炭、天然ガス）の確保とその設備の拡充を図るべきではないか。
5. 【CO<sub>2</sub>排出削減の視点から】現行の各シナリオは、2030年の二酸化炭素排出量の削減目標との関連でつじつまを合わせているが、第一約束期間以降の二酸化炭素排出削減について優先度を下げるべきではないか。第一約束期間以降については、法的拘束力のある排出削減義務はまだなく、対外的な交渉に注力すべきだろう。
6. 【CO<sub>2</sub>排出削減の視点から】5については、ここではセクター別アプローチの視点に立ち、発電部門での排出削減目標、運輸部門での排出削減目標、民生部門での目標と、セクター別の目標達成に因われているものと考えられるが、運輸部門の低炭素化（EV、HV）と民生部門の電力利用削減（3.11以降の過剰照明などの回避）を加味

二重の電力供給  
 ↑  
 112  
 ↓  
 経済  
 社会  
 問題  
 の  
 2

することで発電部門での増加（より詳細な評価は必要）を許容しつつ、電力の安定供給を優先的に図るべきではないか。

7. 【原子力の視点から】いずれのシナリオを取るにしても、原子力関連設備・関連事業（廃炉・廃棄物処理処分など）は残存し、これに対応する人材が必要となる。原子力に関わる人材の新たな供給は現実的にきわめて困難になりつつある。人材は、その人の人生・生活と直結するものであり、国の責任において十分な育成を求める。

8. 【原子力の視点から】15、20-25シナリオにおいて、「再処理がありうる」とあるが、今後もこれらのいずれかのシナリオに従って原子力を利用する場合（原子力には他の方法もありうるが）、各電力事業者は Fukushima 事故以前にウランの長期契約を行っており、それによって少なくとも残存する原子力発電所の燃料は充足する。再処理は核分裂性物質のプルトニウムを抽出して燃料化することにあるが、その方法として本来は高速増殖炉、その実現まではプルサーマルで、としていたが、現下の状況において高速増殖炉の実用化は想定できず、すなわち大量のプルトニウムの抽出は必要がない。前述のように軽水炉向けウラン燃料が十分足りているのであれば、再処理によるプルサーマルの根拠はない。そうであれば、15、20-25シナリオでの再処理は、「行わない」とすべきだろう。再処理については、現在、法的に全量再処理が定められており、需要の有無によらず実施することとなっている。実施主体は民間企業ではあるが、今後の原子力利用の大きな方向性を定めるにおいては、再処理そのものは事業の清算も含めて抜本的な見直しを図るべきではないか。

9. 【原子力の視点から】各シナリオの全てにおいて、「直接処分」とあるが、これは現状では立地を探すことは極めて困難であろう。そもそも使用済み核燃料を再処理しようとした背景には、これが核燃料、すなわち有価物である、という前提がある。この前提は、これを利用する限りにおいて発生するのであり、利用しなければ無価値物である。我が国においては将来的には無価値物となりうるが、一方、諸外国に目を転じれば、原子力を今後も利用する国が大半である。それは、我が国が環太平洋造山帯に位置するのと対照的に、地震の発生しない、また津波の影響を受けない地域が多々あるためである。たとえば中東ペルシャ湾南岸諸国（サウジアラビアやUAEなど）、北アフリカ、インド中南部、中国（四川省以外）、米国（西海岸以外）、欧州中北部などである。特に中国インド、あるいは他の新興国においては、原子炉に加えて核燃料を必要としている。NPTに加盟しないインドにオーストラリアがウランを供給することとなったのも、そのような事情による。2007年にウラン価格が前年の10倍以上に高騰したのも、中国が原子力拡大の方針を明示したためである。これらの国々は、その巨大な人口（ともに12億人以上）、未だに低い一人当たりGDPなどから、今後も引き続き経済は成長する。その中で原子力の必要性は高い。これらの国に対して我が国の使用済み核燃料を輸出するという選択肢を考えるべきではないか。その際、使用済み核燃料の再処理は、輸入国側で実施する。我が国からは、廃棄物を他国に輸出

2

する国際的な規約への違反ではないかとの見方もあろうが、有価物であり、廃棄物ではない。すなわち、天然資源に工学的措置（原子炉での中性子照射）を加えて付加価値を高め（プルトニウムの生産）、輸出する。それでも使用済み核燃料に含まれるウランとプルトニウム以外（MAとFP）は廃棄物であり、これらを他国に押し付けることになるのではないかと危惧があるかもしれない。もしその懸念があるのであれば、MAとFPのみを我が国が引き取ればよい。これらの総量は使用済み核燃料の約3%である。現在、約2万トンの使用済み核燃料があるため、MAとFPは約600トンに相当する。なお、これらの中にはネオジムやジスプロシウムなど希土類を含む希少金属も含まれている。これらのみ、国内での処分もしくは中間貯蔵を検討すればよい。

10. 【CO<sub>2</sub>排出削減の観点から】上記9において、二国間での二酸化炭素排出共同事業化（CDM、JI）することにより、例えば中国やインドで日本から供給するウラン+プルトニウムによって実装される原子力の規模に相当する、火力発電所相当量と考えれば、おおざっぱに言えば百万キロワットで10〜20基分に相当する。そのような二国間交渉も検討すべきである。

11. 【エネルギー安全保障の観点から】各シナリオで、エネルギー安全保障について触れられているが、主として輸入化石燃料（石炭、天然ガス）への依存度が少ない場合にエネルギー安全保障が高いとの想定に立っている。これにより、我が国の産業基盤を強固にするとの思惑があるのだろうが、産業基盤から見た安全保障の側面では、併せて資源安全保障を想定しなければならない。これは鉄や銅などのベースメタルに加え、我が国のハイテクを存立させるにおいては、レアアースなど、希少金属の確保がなくてはならない。これについては本質的に何らの戦略もない。化石燃料の依存度を低減し、再生可能エネルギー比率を向上させることによってエネルギー安全保障を向上させ得ると考えているようだが、実態を認識している。再生可能エネルギーがエネルギー安全保障を向上させ得るのはあくまでも燃料の面のみであり、それらの機器を製造する上ではレアアースがなければ成立しない。太陽光パネルであれば紫外線耐性の向上、風力発電であれば、高効率発電機用の永久磁石、EV、HVであれば高性能駆動用モーターの永久磁石などである。「太陽光パネルや風力発電設備は輸入できる」という考えがあるかも知れないし、実際、価格競争力の観点に立てば、これら設備産業はすでに我が国には競争力はない。そのことは、すなわち、燃料は国産となりうるが、設備は輸入に依存することとなり、すなわち安全保障は低下することとなる。その意味で、エネルギー安全保障の評価は安易に入れるべきではない。

※上記いずれにおいても、米国など、諸外国との調整が必要となるが、それらは当然、行うべきである。

丁  
2022

21

以上です。【原稿は結構いい感じ】  
 2022年15日  
 2022年15日  
 再生可能エネルギーは2030年以降に  
 再生可能エネルギーは2030年以降に  
 再生可能エネルギーは2030年以降に  
 再生可能エネルギーは2030年以降に